

議会だより

うちこ

vol. 57

令和8年5月
発行

物価高を反映した当初予算 P8 ~ P9

1月臨時会・3月定例会 P2

委員会報告 P3 ~ P7

一般質問(5名) P10 ~ P15

特集 町民のみなさんの質問にお答えします P16 ~ P17

【大きく元気にな〜れ】

モデル：匠の技術を次世代へ 成岡さんご一家





第153回臨時会が
1月26日に開催されました。



第154回定例会が3月3日から18日までの
16日間の会期で開催されました。

議案
◎令和7年度内子町一般会計補正
予算(第5号)
3億1015万円
物価高騰の影響を受けた生活者や
事業者に対する支援事業、物価高騰
対応子育て応援手当及び衆議院選挙
費の補正予算



総務文教常任委員会

町職員の旅費に関する条例制定

国家公務員等の旅費に関する法律の一部が改正されたことに伴う、職員の旅費に関する条例制定

問 町長等特別職と一般職との宿泊費の基準額の違いの根拠は。

答 総務課
町長等特別職と一般職との宿泊費の差は、国の基準に準じたものであり、職務の重要性や責任の重さ、また、これまでの慣行に基づき設定している。

国民健康保険税条例の一部改正

内子町国民健康保険運営審議会の答申を受け、税率改正を行うもの

問 医療費が減額されている一方、介護分の税率が上がっているように見える。これは、介護保険分については負担が増となるのか。

答 総務課
県への納付金に基づき算定した結果、介護保険分は微増となるが、医療費分の減額により、国民健康保険税全体としては引き下げとなるものである。

- 3日** 町長招集挨拶及び施政方針
議案提案
●報告3件
●条例の制定3件
●条例の一部改正10件
●条例の廃止4件
●指定管理者の指定1件
●議決を要する計画2件
●補正予算8件
●当初予算8件
●人事案件18件
- ◎内子町監査委員の選任
●内子町内子
山崎 公紀氏を任命
●諮問1件
●議決19件
●広報常任委員会
●一般質問(5議員)
●総務文教常任委員会
●産業建設厚生常任委員会
- 9日** 予算決算常任委員会
11日 各委員長から審査報告
議決(36件)

内子町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

「内子町災害弔慰金等支給審査委員会」等、3つの委員会等を設置することに伴う条例改正

問 学識経験者とは、具体的にどのような方を想定しているのか。

答 総務課
大学教授をはじめ、弁護士や医師などの高度な専門的知識を有する方を指すものである。

内子町火入れに関する条例の一部改正

令和8年1月1日から林野火災注意報及び林野火災警報の運用が開始されたことに伴い、火入れの中止に関する事項を見直すため

問 改正内容について、住民への周知方法は。

答 総務課
町の広報誌やホームページ等を通じて広く周知するとともに、林野火災注意報などの関連制度についても併せて発信し、町民への注意喚起を図っていく。

「議会だより」では、議案などを抜粋して掲載します。

【議案】 報告、人事案件、諮問以外の議案は各委員会に付託され、審査及び採決後、最終日に議決されました。委員会での審査内容は3～9ページに掲載しています。

◆全会一致で受理・同意・可決された議案

- 条例の制定**
◎内子町職員の旅費に関する条例(総)3ページ
◎内子町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例
◎内子町地域優良賃貸住宅管理条例(産)4ページ
- 条例の一部改正**
◎内子町国民健康保険税条例の一部改正(総)3ページ ほか3件
◎内子町営住宅条例の一部改正(産)4ページ ほか5件
- 条例の廃止**
◎内子町営小田プール条例廃止(総)3ページ ほか2件
◎内子町新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給基金条例廃止(産)
- 指定管理者の指定**
◎内子町斎場の指定管理者の指定(総)3ページ
- 補正予算**
◎令和7年度内子町一般会計補正予算(第6号)(予)5ページ ほか補正予算 7件
- 当初予算**
◎令和8年度内子町一般会計予算(予)6～7ページ ほか当初予算 7件
- 人事案件**
◎内子町農業委員会委員の任命につき同意を求めること 17件
◎監査委員の選任
- 諮問**
◎人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること

付託先
(総)総務文教常任委員会
(産)産業建設厚生常任委員会
(予)予算決算常任委員会



内子町営小田プール条例の廃止

施設の老朽化等により内子町営小田プールを閉鎖するため

問 廃止後の跡地活用について、更地にするのか、あるいは地域における活用要望があるのか。

答 自治・学習課
自治会等と協議を行い、地域の意向を踏まえた活用を検討する。

内子町斎場の指定管理者の指定

問 事業の安定的な継続に向け、指定管理料の算定は。

答 住民課
令和7年度より指定管理料の引き上げを行い、運営基盤の安定を図っている。

施設の解体撤去に伴う内子町小田体育館条例の廃止

問 今後の跡地利用において、学校側との連携について、町の方針は。

答 自治・学習課
解体前と同様、引き続き小田分校の先生方の駐車場として有効活用していく予定である。



駐車場として活用されます

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

問 基準が満たされず辺地計画から外された場合、事業の実施はどのようなのか。

答 総務課
計画の対象外となった場合でも、事業を断念するというのではなく、他の財源の確保に努め、事業整備を進めていく。

委員会での採決は、
可決

内子町地域優良賃貸住宅管理条例
(小田地区 町村団地)

特定優良賃貸住宅制度の見直しにより、地域の実情に応じた柔軟な運用が可能となる地域優良賃貸住宅制度へ移行することに伴う条例制定

問 改正による入居に係る所得制限の変更点は。

答 建設デザイン課
入居基準を従来の「中堅所得者向け」から「町営住宅と同等」へと緩和する。これにより、低所得世帯の入居を可能とし、空き室の有効活用と居住の安定を図るものがある。

岡団地4号の除却に伴う内子町営住宅条例の一部改正

問 岡団地をはじめ、町内全域における老朽化した町営住宅の建て替え等の整備計画は怎么样了のか。

答 建設デザイン課
「内子町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、今後の需要と供給のバランスを見極めつつ、必要に応じて建て替えや用途廃止などを順次進めていく。

内子町文化交流ウィラ「高橋邸」の施設運営に関する必要経費の増加に伴う、施設利用料等の条例一部改正

問 現在の収支状況と、今回の料金改定による経営改善の効果は。

答 町並・地域振興課
令和6年度収支は、売上約161万円に対し支出約386万円と不足が生じている。本改正による増収分は人件費の一部に充当するものであり、今後は宿泊利用者の増加を促進することで、さらなる収支の健全化に努めるものがある。



今後の利用客増加に期待

委員会での採決は、

可決

2月18日、改修工事中である「内子座」、「旧森家」の工事の進捗状況について視察研修を行った。

内子座

県内で初めて国の重要伝統的建造物群に指定された八日市・護国地区とともに内子のシンボルとして思い浮かべるのが、国の重要文化財の芝居小屋「内子座」。

現在「内子座」は、令和6年9月から休館し、大規模保存修理工事の最中である。

足場に囲まれた「内子座」は、屋根瓦がすべて取り除かれ部材がむき出しになり、往時の面影を感じない姿となっていた。



瓦や壁を取り除いた状態の内子座

重要文化財のため、使える部材を残し、修繕を擁する部材のみ補強していく根気のいる作業が進行中。次世代に記録を残すことも大切な仕事になっている。

旧森家

「旧森家」敷地内には母屋や土蔵7棟が残っており、もともと古い建物は二百年以上に建てられている。「内子座」同様、土地の文化や風土を感じる貴重な建物である。

歴史的風致形成建造物一号として、内子の新たな宝として改修工事が現在行われており、現在2期工事の最中である。



2期工事のようです。完成が楽しみです

「内子座」「旧森家」ともに町民を中心とした集いの場として工事を完了が楽しみです。

予算決算常任委員会
(補正予算)

◎令和7年度内子町
一般会計補正予算(第6号)

収入

町税のうち個人町民税

2000万円増

問 前年度と比較して個人町民税が大きく増額となった理由は。

答 税務課
主な要因は、前年度に実施された「定額減税」の影響がなくなったことによるものである。今年度はその影響がないことに加え、給与所得の増加などの要因が重なったことによるものである。

資料館上芳我邸入館料

703万円増

問 インバウンド増加が理由とのことだが、来館者数と内訳は。

答 町並・地域振興課
令和8年2月末時点での来館者数は約4万3000人であり、うち外国人が3万6300人と、全体の約8割を占めている。



インバウンドによる来館者数が増加中の上芳我邸

支出

有害鳥獣対策事業

1969万円減

問 大幅な減額となっている主な要因は何か。また、イノシシの減少と豚熱の発生との関連はあるのか。

答 農林振興課
捕獲数が昨年度よりも6割以上減少したことが主な要因である。減少の背景には、山の餌が豊富であったことに加え、町内でも確認された豚熱による個体数の減少が少なからず影響しているものと推察される。

合併浄化槽設置補助

909万円減

問 設置実績が計画の40基に対し18基と大きく下回っているが、この要因をどうとらえているか。

答 建設デザイン課
町内には約2400戸の汲み取り世帯が残っているが、合併浄化槽への転換は、水回りの改修等に伴う自己負担が大きな課題であり、設置が進みにくい状況にある。



改修費用の負担が大きい合併浄化槽

◎令和7年度内子町
国民健康保険事業特別会計
補正予算(第2号)

県国保連合会負担金

61万円減

問 国保連合会の入札によるものとのことだが、具体的な内容は。

答 住民課
県内20市町で共同利用している事業報告システム等の開発費負担金について、実施した入札の結果減額となったものである。

◎令和7年度内子町
後期高齢者医療保険事業特別
会計補正予算(第2号)

後期高齢者医療保険料

433万円減

問 特別徴収分が減額される一方、普通徴収分は増額されているが、その要因は。

答 住民課
特別徴収の減額は、年度途中の転出や死亡の事由により、保険料を減額調整したことによる。一方、普通徴収の増額は、新たに75歳に到達された方や転入された方の加入によるものである。

委員会での採決は、

可決

予算決算常任委員会 (当初予算)

◎令和8年度
内子町一般会計予算

期日前投票所専用ネットワーク構築業務委託 153万円

問 商業施設への期日前投票所を新設する計画とのことだが、既存投票所との距離的關係など、費用対効果の検討は行ったのか。

答 総務課
買い物ついでに投票できる利便性の向上は、新たな投票者層の掘り起こしにつながると考える。実施後は、利用状況や投票率を精査し、その効果を分析していく。



買い物のついでに「期日前投票」を

霊柩車使用補助

問 補助の大幅減額の理由は。

答 住民課
合併から20年以上が経過し、町内の施設としての位置づけが定着したため、町内移動に対する補助は本年度で廃止する。今後は、火葬場の修繕等により町外の施設利用の差額分のみを予算計上したものである。

神南山分収林契約解除に伴う立木補償 1571万円

問 なぜ今、町が立ち木の買取りを行い、管理をするのか。

答 農林振興課
所有者の世代交代が進み、管理が困難となっている。森林の放置は災害のリスクにつながるため、町が責任をもって立ち木を買取り、間伐や植林を計画的に行うことで、地域の安全と森林保全を図る。

公共空間での樹木の管理

問 龍王公園における桜の老朽化による倒木リスクや、街路樹の根の盛り上がりによる歩行者の転倒の危険性など、安全管理の対応は。

建設デザイン課

答 龍王公園については、住民の安全確保を最優先とし、専門業者の診断に基づき、危険性の高いもの



景観にも配慮しながら計画的な伐採を

から順次伐採をしていく。また、街路樹についても、景観保全と安全確保を両立できるように計画的な管理を計画していきたい。

内子高等学校本校魅力化および公営塾支援事業 1137万円

問 内子高等学校の志望者数が定員81人を下回り、あと1年で募集停止の危機に直面している。「公営塾」の開設は、現状を打開する実効性のあるものなのか。

答 自治・学習課
現在の厳しい募集状況は重く受け止めている。本事業は、単なる学力補完にとどまらず、地域資源を活用した「探求学習」を推進し、学力と進路の保障を目指すもの。高校と一丸となって「地元」に選ばれる魅力ある学校」の再生に努めていく。



精一杯魅力を発信していきます

学校再編計画

問 教育懇談会の答申内容が決定事項であると受け止めている保護者も多い。今後、町として方針を決定した際、関係者への説明や公表はどのように行うのか。

答 学校教育課
4月に再編計画を策定し、ホームページ等で公表を行う。また、関係学校のPTA等に対し、教育委員会が直接出向き、丁寧な説明を行い、理解が深められるよう誠実な対応に努めていく。

◎令和8年度内子町
国民健康保険事業特別会計予算

問 条例改正により保険料率の引き下げが予定されているが、これに伴い一般会計からの繰入金も減額できるのではないか。

答 税務課
国民健康保険料は、税収で賄うべき必要額を算出したものである。一方、保険基金安定繰入金は、低所得世帯への軽減措置など、制度上の要件に基づき算出されるものであり、保険料の増減とは直接連動しないものである。

◎令和8年度
内子高等学校小田分校寄宿舎特別会計予算

県外生帰省時旅費補助 85万円

問 補助額の算定基準と支給運用はどうか。

答 小田支所
帰省の際の往路分を基本として実費支給するものである。支給にあたっては、交付要綱に基づき、個々の事情にも柔軟に対応するなど、適切かつ弾力的な運用に努めている。

◎令和8年度
内子町水道事業会計予算

問 漏水の早期発見は住民にとって利益につながるものである。有収率の現状と、漏水調査の現状は。

答 建設デザイン課
有収率は、80.2%と全国の類似団体の平均約77%を上回る状況にある。漏水調査については、夜間の流量調査等により年間約40件の漏水を発見・修繕を行っており、今後も適正な維持管理に努めていく。



音調棒を使った漏水調査の様子

◎令和8年度
内子町下水道事業会計予算

問 浄化センターの改築更新及び耐震工事期間中、機器の故障や停電が発生した場合のバックアップ体制は万全か。

答 建設デザイン課
工事計画は、過去の運用実績を分析し策定している。また、停電時にも24時間稼働可能な自家発電設備を完備しており、不測の事態にも支障をきたさないよう、安全対策に万全を期している。

委員会での採決は、

可決

教育への支援

教育環境の充実

- 体育館空調実施設計委託 …… 910万円
- 修学旅行費補助(小・中・高校生) …… 1790万円
- 学校施設LED化設計委託 …… 1518万円
- 旧幼稚園改修設計委託 …… 324万円



体育館の暑さ対策の早期対応を

農林業づくり

農家の支援

- 農業機械施設整備事業補助 …… 1725万円



機械化で作業効率UP

防災・安全安心づくり

持続可能な消防施設の管理

- 五城分団第2部消防詰所新築工事 …… 2500万円
- 五十崎分団第1部消防詰所設計委託 …… 179万円
- 災害医療等備蓄品の購入 …… 456万円

災害に対する自助の備え

- 木造住宅耐震改修事業委託・補助 …… 2148万円



木造住宅耐震改修工事

魅力ある風景や生活の基盤整備

景観・歴史的風致の維持向上

- 内子座保存修理監理委託・工事 …… 2億6249万円
- 愛着のある地域を目指して
- チョイソコうちこ・共助型ライドシェア委託 …… 1660万円
- 東沖自治会館新築工事監理委託 …… 330万円
- 東沖自治会館新築工事 …… 1億3217万円
- 東沖自治会館解体工事設計委託 …… 2827万円
- 柿原団地第1期新築工事設計委託 …… 1039万円



東沖自治会館の完成予想パース窓を設け、自然光を取り込む工夫も

一般会計

111億5000万円

対前年度比

11.2%増

+11億2000万円

可決

令和8年度当初予算は、第3期内子町総合計画において内子町の「誇り」である「町並み、村並、山並みが美しく、持続的に発展するまち」を目指す将来像として掲げ、商工業・観光づくり、教育への支援、農林業づくり、防災・安全安心づくり、魅力ある風景や生活の基盤整備を主要施策として予算化されている。

特別会計予算

特別会計区分	令和8年度	前年度比較
国民健康保険事業	17億5779万円	▲625万円
後期高齢者医療保険事業	3億4439万円	4206万円
介護保険事業	28億5411万円	▲856万円
介護保険サービス事業	1529万円	115万円
内子高等学校小田分校寄宿舎	4532万円	▲109万円
合計	50億1692万円	2731万円

※表の合計金額については、端数処理を行っているため、一致しない場合があります。

可決

公営企業会計予算

水道事業会計			下水道事業会計			
	令和8年度	前年度比較		令和8年度	前年度比較	
収益的収支	収入	4億4604万円	546万円	収入	2億8182万円	▲1284万円
	支出	4億3084万円	391万円	支出	2億8182万円	▲1284万円
資本的収支	収入	3億1405万円	1798万円	収入	2億2956万円	▲1億6万円
	支出	4億6321万円	8251万円	支出	2億8399万円	▲8629万円

可決

主な事業

商工業・観光づくり

小田深山エリアの拠点整備

- 小田深山溪谷施設水道整備工事 …… 3599万円
- 第2リフト支えい索等交換工事 …… 1288万円
- スキー場駐車場進入路舗装工事 …… 292万円

観光拠点の機能強化

- 旧森家米蔵内装工事 …… 833万円
- 紅葉ヶ滝公園遊歩道整備工事 …… 154万円



小田深山溪谷水道施設の水源

町政を問う！

内子町ホームページ「議会事務局」



内子町議会インターネット配信



【質問通告書内容】

酒井 勝也 議員 …………… 11 ページ

◎空き家バンクの運用と今後の登録促進方法
◎町外在住者の不動産所有への意思確認の呼びかけの推進 ◎ワンストップでできる相談窓口の創設

松田 修 議員 …………… 12 ページ

◎内子町の政策立案のプロセス ◎町内の廃屋と管理されない空き地
◎神社などの文化財の維持管理と町の観光資源としての利用

西口 邦彦 議員 …………… 13 ページ

◎小中学校統廃合 ◎森林環境譲与税 ◎中山間直接支払制度

城戸 司 議員 …………… 14 ページ

◎ふるさと納税 ◎防災



向井 一富 議員 …………… 15 ページ

◎職員採用 ◎障がいのある子の親亡き後の支援 ◎交通弱者の移動手段 ◎内子町の未来

大相統時代の空き家対策と移住定住の推進



さかい かつや 議員 酒井 勝也

あと数年で2030年を迎える。この年は、国内人口の3人に1人が65歳以上となり、相統時代の本格的な到来を意味する。個人の資産を地域の負債にしないための対応についての質問

【空き家バンクの運用】

問 空き家バンクに登録されている物件は20戸程度のため、増やす必要があると考える。これまでの成約件数などの実績と、現在、登録が伸び悩んでいる要因は。

答 平成21年度から取り組みを始め、現在、50件の契約が整っている状況。社会的な認知もあり、年々増加傾向にあるものの、登録件数が十分ではないという認識。物件所有者に対する空き家バンク制度の周知不足が一番の原因。

今後は制度の周知と、空き家バンクに登録したい物件所有者が財処分等を行う場合に、その費用を支援する。空き家有効活用促進補助制度の紹介を並行して行い、登録物件の増加に向けた取り組みを行う。

問 不動産業者による価格査定費用や司法書士への手数料を一部助成する制度など連携を強化すべき。専門家の力を借りる仕組みを作るべきでは。

答 不動産業者等への手数料の一部助成の件について支援により受益者の費用負担軽減を図ることはできるが現在、不動産業者や司法書士へ支払う手数料がネックとなり登録や契約が進まないといった相談は受けていない。不動産事業者等へ支払う手数料の助成制度については、現時点では考えていない。

【固定資産税納税通知書の利用】

問 固定資産税納税通知書を利用してチラシ等を同封することで登録に寄与するのは。



答 令和8年度の固定資産税納税通知書に、空き家バンク制度を紹介したチラシを同封し、制度の周知を強化する取り組みを予定している。所有者やそのご家族が将来的な空き家の活用等を考えるきっかけになればと考えている。

【ワンストップでの専門部署】

答 すでに一部の団体の中で活用の紹介があったようだが、福祉分野とさらに連携し、高齢者サロンなど、機会をとらえて紹介を行うなど、取り組みたいと考えている。

サポーターも不可欠である。「住まいのエンディングノート」の活用を提案する。

【住まいのエンディングノート】

問 町内にお住まいの高齢者への

答 平成30年に総務課政策調整班に定住促進係を設置。相談者が必要とされている情報を持つ専門部署へつなぐなど、問題なく連携し、業務を行っているところである。小さな町だからこそできる職員同士の顔の見える連携、そして、協力体制が内子町にはある。そういった強みを生かし、最初に相談者などの部署で相談しても、連携がとれる体制がすでに整っていると認識している。

一般質問の映像配信は
こちらから



町政の政策立案プロセスを問う



まつだ おさむ 議員 松田 修

町政の政策立案

問 町政の政策立案は、各課から上げられたものを積み上げて作成されるものと思うが、町政の政策立案のプロセスについて説明を求めらる。

答 担当課において、住民の皆様の声や各種データ、職員のアイデア等を元に課題を把握し、現状を分析する。住民の皆様の声を拾う方法としては、アンケートや住民ワークショップなどの方法を用いている。

分析した現状や課題に基づき政策の方向性を目標として設定、その目標を達成するため、他の市町の成功事例や専門家の意見などを参考に、担当課の中で政策を組み立てる。その後、理事者と課長等で構成

する政策会議に諮る。政策内容によってはパブリックコメントを募集し、その意見をもとに最終的な調整を行い、議会へ当該予算とともに事業説明を行うという流れである。

問 町の体制に、各課に跨る重要な政策を調整して、各課の統一を図る町長直轄の機関はないのか。

答 町長直轄の機関というものは無いが、基本的に新しい政策を町の施策として実行する場合には、政策会議にかけるルールとしている。

観光地における景観

問 旧内子町内は、観光客が多い地区だが、廃屋や管理不十分な空き地がいくつも見られる。景観や防災面での不安の声を聞く。

特に多くの観光客が訪れる八日市地区には、今にも崩れそうな廃屋について、景観はもとより、防災や安全性についても懸念される。また、管理が十分でない空き地については、雑草や花木が景観を著しく悪くしている。

答 空き家に対し、所有者等からの相談体制を整備して情報共有や連携を図るとともに、危険な老朽空き家を把握した場合には、所有者が自らの意思で必要な措置を講じられるよう、改善に向けた情報提供や助言に努めている。

具体的な施策としては、平成28年に内子町老朽空き家等除却事業補助金交付要綱を施行し、居住環境の改善と災害防止を目的として、所定の条件を満たす空き家の除却費用に対する補助を実施している。

また、個人所有の管理不全の空き地に係る蜂などの諸問題については、町内の駆除業者の紹介等により対応しており、町による助成等の対応は困難な状況にあるが、今後は適切な管理の重要性や放置による諸問題について広報活動等の情報発信を行い、普及啓発を強化する。

文化財の管理対応

問 神社などの文化財を観光資源として利用することで地域が苦慮する維持管理の手助けができないか。

答 現在、内子町で指定している文化財は合計95件で、そのうち神社やお堂などの建造物については11件で、いずれも、歴史的、文化的価値を持つ町の財産であり、管理または修理に要する所有者負担を軽減できるよう、内子町指定文化財等保存継承補助金交付要綱を設けて補助金を交付している。

現段階では、新たな補助制度を新設する計画はないが、引き続き、未指定、未だ町指定の文化財として指定されていないものも含めて、随時、文化財に関する相談を受け付けていく。



地域文化財 人口減少で保存が難しくなっている

一般質問の映像配信はこちらから



小中学校存続で過疎地域の活性化を！



にしくぼ なおひこ 議員 西口 邦彦

小中学校の統廃合

問 小中学校統廃合答申の懇談会における意見等について伺う。

答 会議においては、学校教育や校舎等施設の現状、小規模校や大規模校におけるメリット、デメリットによる検討。小中学校の再編基準や統合案において、「子どもにとってどうか」という視点に立って、適正規模、適正配置に向けた意見をかわし、当事者である保護者の意見を最優先に考え方を講じることなど意見の集約をされている。

森林環境譲与税

問 森林環境譲与税は内子町において、累計1億円以上を配分されているが、どう配分され使用されたのか。

答 森林環境譲与税額は令和元年度から令和6年度まで3億5726万円となっており、環境林整備事業、里山整備、林道の路面整備・維持管理に充当している。森林環境譲与税の趣旨に沿い、豊かな森林を守り、次世代へと引き継いでいくために計画的かつ効果的に活用していく。

優先に考え、対象となる小中学校へ出向き、多くの意見を聞きたい。地域の意見を聞く機会については、保護者から、地域住民を交えた説明会の開催や地元自治会などにより開催の要望がある場合には、住民の理解を深めるため開催する。

中山間直接支払制度

問 本制度の対象となり得る面積と実施面積は。



補助事業により間伐された森林

答 農振農用地の面積は2646haあり、協定面積約467haである。

問 水田畦畔草刈を地元住民らに委託し、費用について補助金を出す事例があるが、補助制度は。

答 耕地の法面等の草刈は制度上、農業生産活動と一体に行われる農地等の維持保全管理と位置付けており、交付金の対象となる。

問 放置された田畑が多く、草・雑木が生い茂り通行を妨げている場所に対する対策方法は。

答 基本的には、土地所有者、または耕作者が適切に管理することが大原則である。農地は私有財産であり、町独自の対策は考えていないが、通行の安全確保の観点から、支障が著しい場合には、土地所有者への働きかけ等必要な対策に努め、制度の取組を活用しながら農地の適切な維持管理や荒廃防止活動に努めていく。

一般質問の映像配信はこちらから



常日頃から地域のつながり、人のつながりが大切



市長 喜多 正人

ふるさと納税で地域再開発

令和7年のふるさと納税額は。

令和7年の実績は、1112件、2957万1000円で、前年比は寄付件数が147件の増、寄付額が321万3568円の増。

令和7年の実績をどう分析し、令和8年はどう取り組むか。

令和8年度より、新たな体制で町内に潜在する返礼品の開発促進、購入意欲を刺激するサイト内での見せ方の強化など、中間事業者が持つノウハウを最大限に生かし、商品力、集客力、販売力を高め、寄附額の増加を目指して取り組む。

自治体へ返礼品の協力をしては。現在、ふるさと納税返礼品事業者から淹打たれ体験の申請が出ている。総務省の許可が必要となっているので、許可をいただいたら掲載したい。



200ℓ入る五右衛門風呂(お山の学校ながた)

助け合いで乗り越えよう

愛媛県が地震被害想定調査を見直した。孤立の可能性があると該当したのは、町内どの地域か。

30集落が該当している。

孤立する可能性の高い集落について、現時点で愛媛県は公開していない。

今回の調査を実施した愛媛県防災危機管理課に公表予定について問い合わせたところ、年度末以降に公表される調査報告書で知らせる予定とのこと。

何集落のうちの30集落か。

140程度の行政区のうち30行政区が該当すると考えている。

備蓄などの現状を発信し、自助・共助の意識を高めては。

自助と共助の意識を高めていくことは非常に重要。これまで「自分の命は自分で守る」という呼びかけを行ってきたが、さらに踏み込んで、自分の命を守ったうえで、周囲の人を助ける。自助から共助へ、助けられる人から助ける人へ変わっていく必要がある。

町民の移動手段をより便利に、より分かりやすく



議員 向井 ひとみ

職員採用状況は

現時点での雇用形態別の任期と人数を問う。

正職員は、一般行政職、専門職、技能労務職の3つの区分、一般行政職は、政策の企画立案、行政手続きの運営、窓口業務など、様々な行政サービスに従事。一方、専門職は土木建築や保健師、保育士など、特定の専門知識や技術職である。技能労務職は、運転手や調理師といった職種で、それぞれ特定の領域に特化した業務を行っている。

会計年度任用職員は、フルタイム職員と短時間勤務のパートタイム職員があり、主な業務は、書類の作成や窓口業務などを行う事務系の仕事、要介護認定調査員や消

費生活相談員など、専門的な知識を必要とする業務がある。

次に、現時点での雇用形態別の任期と人数は、正職員は定年制で、現在の正職員数は250人。内訳として、一般行政職178人、専門職60人、技能労務職12人。

会計年度任用職員の任期は原則1年で3回までは更新でき、3年ごとに新たな募集を実施している。令和7年4月時点では215人、その内訳は、フルタイム職員62人、パートタイム職員153人である。

障害児の親亡き後の支援

障がいを持つ子どもの養育を保護者がお世話をしている家族がおられるが、親亡き後の状況はどうなっていくのか問う。

障がい者相談支援センター、社会福祉法人で相談支援を受けている。

障がいの程度が軽い方では、家事援助や身体介護などの訪問系のサービスによる支援、グループホームに入居され、日中は就労継続支

交通弱者の移動手段

内子町のデマンドバス、共助型ライドシェア、チョイソコうちこ等の町民の移動手段が確保されているが、それぞれの利用状況と運営方法について問う。

デマンドバスの利用状況は、現在は15路線で運行していて、令和7年4月から令和8年1月までの利用者数は3296人、前年度同期間と比較して639人減少している。

住民ドライバーに移行した参川線及び田渡線の利用状況は、令和7年10月から令和8年1月までの

そのため、避難訓練や防災セミナーなどへの積極的な参加を呼びかけ、防災知識の普及啓発を進める。

また、事前の準備として、食料の備蓄や住宅の耐震化、家具の固定、感震ブレーカーの設置を推進するとともに、自治会や自主防災組織を中心に、地域住民どうしが互いに支え合う重要性についても啓発していく。

避難スペース兼倉庫や個人の倉庫を近隣住民と共用する場合の補助をしては。

分散備蓄というのは非常に重要である。町の施設、学校施設等を活用し、分散備蓄を進めている。

また、来年度あたりから、自治会の備蓄に対して、助成をするよう取り組んでいる。

個人の土地や地域の空いているスペースを活用して備蓄倉庫の整備も含め、今後検討したい。

町としても分散備蓄はしていきたい。

一般質問の映像配信はこちらから



利用者数は153人となっており、前年度同時期と比較してやや増加している。

共助型ライドシェアの利用状況及び運営方法については、立石線及び上成線で運行しており、令和7年10月から令和8年1月までの利用者数は66人となっており、前年度同時期と比較して15人増加した。

共助型ライドシェアは顔見知りのドライバーが送迎するため安心して利用いただいております。車内の会話もはずむなど、好評をいただいている。また、乗り放題の定期券を購入された方もおり、今後も一定程度の利用が見込まれる。



誰もが利用しやすい交通手段の確立を

一般質問の映像配信はこちらから



特集 町民のみなさんの質問???に お答えします

議会だよりに関するご質問等は、毎回「VOICE」のコーナーでご紹介・ご回答していますが、紙面の都合上、ご紹介できないご質問もあります。今回は、これまでお答えできなかったご質問にお答えします。

読者目線の議会だよりを!

60代女性

各質問の問いの色(○)に白文字抜き(□)と答え(□に白文字抜き)が同色のように見えるので、変えてもいいのでは?

また、誰が答弁したのかは、ご紹介されないのでしょうか。担当課長さんなのか、町長さんなのか…。

現在、「問」の色については各号のイメージカラーに合わせて白抜き文字を使用しています。

(5月号=緑、8月号=青、11月号=オレンジ、2月号=ピンク)

また、「答」は基本的に青色としています。水色を使用しています。色の組み合わせについては、誌面の統一感を考えて現在の形としておりますが、見えにくいとのご意見もありますので、今後ご意見を参考にしながら検討してまいります。



各号にイメージカラーがあります

また、一般質問の回答者については、「一般質問通告書」において質問の相手を「町長、行政委員会、長又は監査委員」と定めているため、誌面では個別の記載をしていません。

ただし、実際の答弁では担当課長等が説明する場合もあります。

回答者の記載についても、分かりやすさの面からご意見を参考にし、今後の編集作業の中で検討してまいります。



誰が答弁したの?

次はどうなるの? 町長・町議同日選挙

60代男性

同日選挙の是非に関しては、経費削減額についての議員認識にも違いがある。町民には、メリット・デメリットが分かりづらい。

他の自治体での実施例ヒアリング等も踏まえ、調整、町民それぞれの立場からのメリット・デメリットを整理して今後も議論してほしい。



次の選挙はどうなる? 早い段階で議論していきます

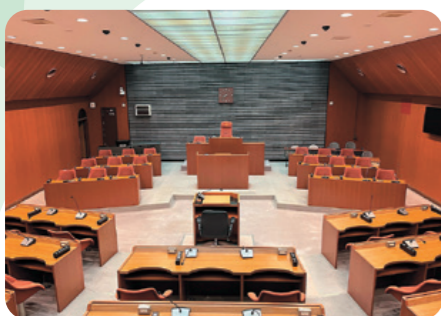
身近な議会にして!

50代女性

議会の傍聴をより多くの人に経験してもらえよう、いろんな働きかけが重要ですね。

内子町議会では、より多くの皆様に傍聴にお越しいただけるよう、町内放送での日程告知やホームページに一般質問の内容を公表しています。

また今後はSNSによる発信に努めてまいります。皆様の声を代弁し、暮らしに寄り添った「興味を持っていただける一般質問」を届けたいと考えています。ぜひ身近な議員へお気軽にお声がけください。皆様の傍聴を心よりお待ちしております。



興味を持ってもらえる議会にぜひ傍聴してみてください

みんなが納得できる予算の使い方を!

60代男性

123億円ですか。大金ですね。(※令和7年6月補正予算) すべての町民の暮らしが良くなることに使ってほしいです。

物価高対策、人口減少、少子化、高齢化、山間部を中心とした耕作放棄地対策、空き家対策、社会保障の充実等住民サービスのニーズ、安全、安心等にこたえていくと結果的にこのような予算となりまして、議会でも十分な審議を経て、このような判断となりました。

皆様の声に十分答えながら適正に大切な税金が運用されるよう今後とも注視してまいります。



予算の使い方については、議員全員でしっかり確認しています

わかりやすいようにゆつてや!

40代女性

ある議員の一般質問でB/CやCEA、KPIなど、あまりなじみのない言葉が羅列されており、解読が難しかった。一般町民にもわかりやすいような説明が欲しい。

議会だよりの難しい言葉等表現について、欄外等に説明書き等表記し、町民にわかりやすく理解できるように努めてまいります。



誰にでもわかりやすい議会だよりを目指します

なぜ無所属が多いの?

60代男性

新人議員紹介、無所属の方が多いですが、ほとんど自民党なのは、分かりやすい議会にしてもほしいです。



編集作業のようす



党の公認を得ている場合に政党名を表記します

議員個人がそれぞれの考えで政党の理念・政策に賛同し、党費を払って党員になっていることはあると思います。議会で掌握しているのは、選挙立候補時に党の公認を得ているのであり、このような表記にしています。

いつも「議会だより」をご覧いただきありがとうございます。今後とも皆様のご意見をお待ちしております。



「日々の生活の中にシャッター
チャンスをあり」
「村前写友会」の取り組み

約30年前、地域の写真愛好家が集まり、「村前写友会」が誕生しました。現在は3名の会員が活動を続けており、地域の様々な行事や催しに足を運びながら、たくさんのお出でを写真に残しています。

地域のイベントには、いつも写友会の皆さんの姿があります。行事の一場面や人々の笑顔、そのときその場にしかない空気まで大切に写し取り、地域の記録として積み重ねてこられました。



躍動感あふれる運動会の一枚

各種写真コンテストにも積極的に応募し、これまで数々の賞を受賞されています。

会長の山本州一さんは、全日本写真連盟内子支部の会長も務められ、忙しい毎日を送っています。

それでも外出時や仕事中にも常にカメラを持ち歩き、「シャッターチャンスは、どこにでもある」という思いで、その一瞬を大切にされています。



カメラシャツを着て自撮り

これまで、カメラを手に多くのイベントに参加してこられました。記念写真の依頼があれば、現地へ出向き、一人ひとりの表情や雰囲気や大切にしながら撮影をされています。

今、誰もが携帯電話で気軽に写真を撮り、その場で画像を送ることができる時代です。しかし、カメラのファインダー越しに被写体と向き合うからこそ表現できる空気感や味わいがあります。



村前三島神社でのお神楽



村前香渡桜が見渡せる風景

最後に、山本さんは「写真は人生を写す鏡です。これからも皆さんに、とびつきの笑顔の写真を届けていきたい。農業の合間を見つけて各地のイベントにも出かけ、相棒のカメラと共に駆け回りたい」と話してくれました。今後の活躍にも期待が高まります。

傍聴席から

内子町内子 大西 優太郎



「議会」と聞くと、どこか遠い世界の難しい場所のように感じていました。しかし、内子で家業を継いだ身として、一度はその「現場」を自分の目で見なければならぬ。そう思い、仕事着のフリースとジーンズ姿で少し緊張しながら、初めて議場の傍聴席に足を運びました。隣の方も普段着だったので、少しホッとしたのを覚えています。

内子分庁舎4階、初めて入る議場は独特の緊張感に包まれていました。そこで行われていたのは、子どもたちの教育、私たちが毎日歩く町並みの維持管理、森林や空き地、空き家対策、そして文化資源の観光資源の活用など、まさに「私たちの暮らしの根幹」についての対話でした。

特に印象に残ったのは、空き家についての議論です。内子の美しい町並みを守り、持続させていくことは、私たちが営む宿にとって、この町で暮らす全ての人にとっても極めて重要なテーマです。ニュースの結果だけを見れば一行で終わる内容かもしれませんが。しかし現場では、議員の方々が町民の切実な声を代弁し、町長をはじめとする執行部がそれに対して真摯に、言葉を尽くして答弁していました。

その光景を見て気づいたのは、議会とは単に決まり事を確認する場ではなく、この町の100年後の未来をどう守るかという「戦略」を練り、その記録を広く伝える最も真なる場であるということです。

正直、私は行政の仕組みや専門用語を理解できていたわけではありません。それでも、議場という「生」の空間で、誰がどのような想いで町の舵取りをしようとしているのか、その「声のトーン」や「熱量」に触れることで、自分もこの町をつくる当事者なのだという実感がより深いものになりました。

内子には先人が守り抜いてきた素晴らしい歴史と資源があります。それを次世代にどう繋ぐか、そのヒントは間違いなくあの議場にありました。

議会傍聴は、決して堅苦しいものではありません。自分の住む町の「未来の設計図」を、誰よりも早く、正確に確認しに行くようなものです。文字情報だけでは伝わらない、町が動き出す鼓動をぜひ現場で感じてみてください。

帰り際、「次回は質問するからまた来てね」と声をかけてくださる議員さんもいました。この町という大きな家を守る一員として、これからも謙虚に学び、6月の一般質問もまた傍聴に行こうと思います。

議会の
主な活動

- | | | |
|----|--------|--|
| 2月 | 18日 | 内子町消防出初式 |
| | 17日 | 愛媛県町村議会議長会第77回定期総会(松山市)〈議長〉 |
| | 18日 | 産業建設厚生常任委員会視察研修 |
| | 20日 | 全員協議会 |
| | 24日 | 議会運営委員会 |
| 3月 | 3日~18日 | 内子町議会3月定例会 |
| | 3日 | 議会広報常任委員会 |
| | 6日 | 総務文教常任委員会
産業建設厚生常任委員会 |
| | 7日 | 肱川治水碑除幕式等式典(大洲市) |
| | 9日~11日 | 予算決算常任委員会 |
| | 11日 | 全員協議会 |
| | 17日 | 八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合 |
| | 24日 | 大洲・喜多衛生事務組合議会
大洲喜多特別養護老人ホーム事務組合議会
大洲地区広域消防組合議会 |
| | 27日 | 議会広報常任委員会 |
| 4月 | 3日 | 愛媛県町村議会議長会第1回全員協議会(松山)〈議長〉 |
| | 13日 | 議会広報常任委員会 |
| | 17日 | 全員協議会 |
| | 23日 | 総務文教常任委員会 |

VOICE ~みなさまのこえ~

内子町内子 なるおか 成岡 たつろう 達郎さん(31歳)

令和8年3月に暉紘が1歳の誕生日を迎え、家族4世代で初めての記念写真を撮ることができました。私は現在、家業の三代目として社長(父)や諸先輩方の背中を追い、日々成長していく息子を見守りながら、私自身も周りに感謝の気持ちを忘れず、謙虚な姿勢で、これからも邁進して参ります。

私が内子に帰郷した二十数年前、近所のそろばん塾に通っていた達郎さん。塾帰りに声をかけてくれた少年が、今ではご家庭を持ち、お子さんも1歳を迎えられました。お父様の哲さん、祖父の真さんとのご縁もあり、今回4世代での撮影をお願いしたところ、快くご協力いただきました。還暦を迎える哲さんご家族の記念にとのお言葉もいただき、心より感謝申し上げます。温かなご縁に支えられた一枚となりました。今後のご活躍をお祈りしております。

(酒井 勝也委員)



【議会だより】モニター様より貴重なご意見が届いています。

表紙の写真がとても素敵ないい写真だった。写真だけでも子どもを使っているのめくってみる気になった。(40代女性)



紙面に乗り切らない情報も、QRコードを通じて配信されており、わかりやすい議会だよりになっていました。(70代男性)



お褒めのお言葉、ありがとうございます。委員会でも一番にネックになるのが表紙写真です。毎号、担当者を決めて笑顔の子どもさんも掲載できるようこれからも頑張ります。

わかりやすく伝えられるよう編集しておりますが、紙面に限りがあるため、QRコードを取り入れました。

QRコードを発明し、みんなのためにと特許を取らなかった日本人は素晴らしいですね。

これからも便利なものは活用し、良いものにしていきます。

募集中

「議会」・「議会だよりうちこ」にご意見をお寄せください。また、「議会だよりうちこ」に掲載する季節行事や風景などの写真も募集しています。右記アドレスへ送付してください。

ご利用ください!
【QRコード】
内子町ホームページ「議会事務局」へつながります。



議長のスケジュールと
交際費を掲載中!



議会事務局メールアドレス
gikaijimukyoku@town.uchiko.ehime.jp

編集後記

立夏。暦の上では夏。今年の夏はどうでしょうか。皆さん体調管理には十分気を付けて今年の夏を乗り越えてください。

昨年の町議選から1年。私たちは新たな体制で内子町政に取り組んでいます。これからも私たちの仕事に注視していただきたいと思っております。(松田 修)

【議会広報常任委員会】
委員長/下野 安彦
副委員長/西口 邦彦
委員/向井 一富
委員/城戸 司
委員/松田 修
委員/酒井 勝也

次の定例会は **6月3日(水)**開会予定です。